

令和4年度 八戸市の財務書類【概要版】

(単位：億円)

■貸借対照表（令和5年3月31日現在）

貸借対照表（バランスシート）は、市の施設(公共資産)、市の所有する現金や基金、資産形成のために投資された資金や借入金などがどのくらいあるかを示したもので、資産・負債・純資産の3つの要素から構成されています。

科目	R 4			R 3			増減 (R4-R3)		
	一般会計等	全体	連結	一般会計等	全体	連結	一般会計等	全体	連結
資産の部	2,592	4,378	4,998	2,631	4,393	5,018	▲ 39	▲ 15	▲ 20
固定資産	2,488	4,031	4,576	2,526	4,067	4,615	▲ 38	▲ 36	▲ 39
流動資産	104	347	422	105	326	403	▲ 1	21	19
負債の部	1,327	2,671	2,978	1,351	2,702	3,015	▲ 24	▲ 31	▲ 37
固定負債	1,223	2,466	2,747	1,246	2,501	2,788	▲ 23	▲ 35	▲ 41
流動負債	104	205	231	105	201	227	▲ 1	4	4
純資産の部	1,265	1,707	2,020	1,280	1,691	2,003	▲ 15	16	17
負債+純資産	2,592	4,378	4,998	2,631	4,393	5,018	▲ 39	▲ 15	▲ 20

■行政コスト計算書（令和4年4月1日～令和5年3月31日）

福祉や教育などの人的サービスの提供など、資産形成につながらない行政サービスのコストがいくらかかっているかを整理したものです。

科目	R 4			R 3			増減 (R4-R3)		
	一般会計等	全体	連結	一般会計等	全体	連結	一般会計等	全体	連結
経常費用 (a)	977	1,637	1,945	998	1,641	1,945	▲ 21	▲ 4	0
人件費	111	240	290	111	233	282	0	7	8
物件費等	282	467	542	278	448	518	4	19	24
その他の業務費用	14	41	50	12	38	49	2	3	1
移転費用	570	889	1,063	597	922	1,096	▲ 27	▲ 33	▲ 33
経常収益 (b)	35	260	327	25	242	310	10	18	17
純経常行政コスト (c)	942	1,377	1,618	973	1,399	1,635	▲ 31	▲ 22	▲ 17
臨時損失 (d)	1	1	1	2	2	3	▲ 1	▲ 1	▲ 2
臨時利益 (e)	3	3	4	1	2	2	2	1	2
純行政コスト (c+d-e)	940	1,375	1,615	974	1,399	1,636	▲ 34	▲ 24	▲ 21

■純資産変動計算書（令和4年4月1日～令和5年3月31日）

市の純資産(正味の資産)が、令和4年度中にどのように増減したかを示します。

科目	R 4			R 3			増減 (R4-R3)		
	一般会計等	全体	連結	一般会計等	全体	連結	一般会計等	全体	連結
前年度末純資産残高	1,280	1,692	2,003	1,269	1,654	1,964	11	38	39
本年度純資産変動額	▲ 2	4	2	1	19	23	▲ 3	▲ 15	▲ 21
【内訳】									
純行政コスト (△)	▲ 940	▲ 1,375	▲ 1,615	▲ 974	▲ 1,399	▲ 1,636	34	24	21
財源	937	1,378	1,616	972	1,415	1,659	▲ 35	▲ 37	▲ 43
その他	1	1	1	3	3	0	▲ 2	▲ 2	1
本年度末純資産残高	1,278	1,696	2,005	1,270	1,673	1,987	8	23	18

■資金収支計算書（令和4年4月1日～令和5年3月31日）

「資金収支計算書」は、1年間の市の現金の収入と支出の差額が、どのような理由で増減しているかを性質別に区分して整理したものです。

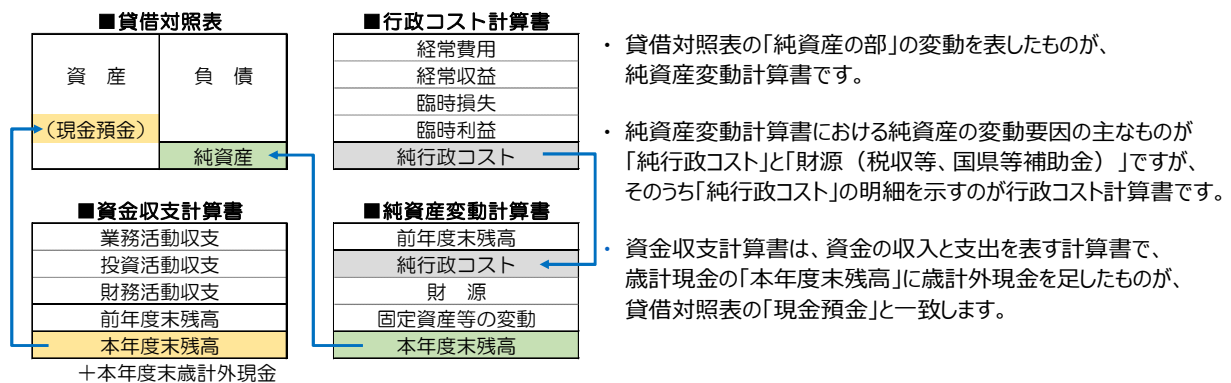
科目	R 4			R 3			増減 (R4-R3)		
	一般会計等	全体	連結	一般会計等	全体	連結	一般会計等	全体	連結
前年度末資金残高	41	182	—	43	178	—	▲ 2	4	—
当年度資金収支額	1	▲ 1	—	▲ 2	5	—	3	▲ 6	—
【内訳】									
業務活動収支	47	114	—	61	125	—	▲ 14	▲ 11	—
投資活動収支	▲ 20	▲ 82	—	▲ 72	▲ 119	—	52	37	—
財務活動収支	▲ 26	▲ 33	—	9	▲ 1	—	▲ 35	▲ 32	—
当年度末資金残高	42	181	—	41	183	—	1	▲ 2	—

※連結会計の資金収支計算書は、連結対象団体によって作成していない団体があるため省略しています。

【会計の範囲】

連 結 (27会計)		
全 体 (16会計)		
一般会計等 (5会計)	①国民健康保険特別会計 ②魚市場特別会計 ③駐車場特別会計 ④中央卸売市場特別会計 ⑤介護保険特別会計 ⑥南郷診療所特別会計 ⑦後期高齢者医療特別会計 ⑧産業団地造成事業特別会計 ⑨自動車運送事業会計 ⑩市民病院事業会計 ⑪下水道事業会計	①八戸地域広域市町村圏事務組合 ②八戸圏域水道企業団 ③青森県後期高齢者医療広域連合 ④青森県交通災害共済組合 ⑤青森県市長会館管理組合 ⑥八戸市土地開発公社 ⑦(一財)VISITはちのへ ⑧(公財)八戸市総合健診センター ⑨(公財)八戸地域高度技術振興センター ⑩なんごうプラザ(株) ⑪(社福)八戸市社会福祉事業団
①一般会計 ②土地区画整理事業特別会計 ③学校給食特別会計 ④霊園特別会計 ⑤母子父子寡婦福祉資金貸付事業特別会計		

【財務書類 4 表の関係】



【増減の主なもの（一般会計等分）】

■ 貸借対照表

固定資産	R4: 2,488 億円	- R3: 2,526 億円	= ▲ 38 億円
固定負債	R4: 1,223 億円	- R3: 1,246 億円	= ▲ 23 億円

小中学校空調整備事業の実施により建物資産は増加しましたが、減価償却累計額を含めると固定資産全体では38億円減少しました。

また、地方債は借入よりも返済が多く、固定負債は23億円減少しました。

■ 行政コスト計算書

物件費等	R4: 282 億円	- R3: 278 億円	= 4 億円
移転費用	R4: 570 億円	- R3: 597 億円	= ▲ 27 億円

光熱水費や道路維持管理経費の増等により、物件費等は4億円増加しました。

また、子育て世帯等臨時特別支援給付金（国補助）の減等により、移転費用は27億円減少しました。

■ 純資産変動計算書

財源	R4: 937 億円	- R3: 972 億円	= ▲ 35 億円
----	------------	--------------	-----------

子育て世帯等臨時特別支援給付金に係る国庫補助金の減等により、財源は35億円減少しました。

■ 資金収支計算書

投資活動収支	R4: ▲ 20 億円	- R3: ▲ 72 億円	= 52 億円
財務活動収支	R4: ▲ 26 億円	- R3: 9 億円	= ▲ 35 億円

投資活動収支は、公共施設等整備時支出の減等により、52億円増加しました。

また、財務活動収支は、公共施設整備等に係る地方債発行収入の減により、35億円減少しました。